

I

問一 ウ・エ・オ

問二 エ・オ

問三

中国南方からマレーシアに移り住んだ華人は、中国の文化的象徴性を備え、共通語である華語と漢字を学校教育などを通じて身につけることよって、それぞれの出身地域や出自によつて異なる方言や慣習を超えた一つの文化を共有する華人としての自己を確立するようになるということ。(二二〇字)

問四

南方方言を母語とする華人であるという境遇において外国語を学ぶように習得した華語は、北京語にもとつきながらも母語の影響を被つた中国語の夾雑物であるほかに、それゆえに中国語の純粹美学に惹かれもするが、華語こそが華人としての自らの生とともに育まれた思い入れ深い言語であり、いかに語彙が貧しく意のままの表現が適わずとも、その華語を自らの文章表現の言葉として引き受け、文学的創造の営みのなかで鍛え上げていくことで、純粹さを欠いた華語によつてのみ可能な新たな表現世界をどこまでも切り開いていくことができる。(二四八字)

II

問一 (a) 相克(剋) (b) 精妙 (c) 安寧 (d) 大綱

問二

個の唯一無二性は社会の構成員となることを前提にしてはじまるが、前者が抱える個人の自由と後者が求める共同体の秩序への従属とは相対立する関係にあると言えるから。(七八字)

問三

種族の存続のために個体の役割を忠実に遂行すべく組織化されたアリの集団である蟻塚にたとえることで、個の唯一無二性を無化し、生殖の結果である個体の誕生を既存の社会へ従属させようとするナチスの全体主義国家の実態を、よりよい社会を構築することに資する個人の自由を抑圧して国家へと奉仕させつつ、異端的な存在を暴力的に根絶し、優良な血統を増殖させて種族の繁栄と社会秩序の安寧を図る恐ろしいものとして理解できる。(二九九字)

問四

人間の誕生は信仰に生きる契機ではなく、よりよい社会をつくるための自由の始まりであり、唯一無二の個人が自由に基づいて現実世界を共に生きる他者を虐げる不正や圧政をただし社会の寛容さを増進させるというように、個人と社会は対立することなく相補って新しい世界をつくっていくものであるべきだ。(二四〇字)

問五

少子化の進行による生産力の低下がもたらす社会制度の破綻への不安から、政府が国策として出生率の向上を掲げる現状では、子供の誕生が単なる労働力の供給として国策に取り込まれることに帰してしまいかねないから。(二〇〇字)

問一

(1) 小大進は監視された。

(2) 鳥羽法皇はふと目をお覚ましになって。

問二

小大進が待賢門院の衣を盗んだという罪が無実であることを証明する
北野天神の靈験が三日のうちにならずあるはずだから、連行をあと
三日待つてほしいという小大進の検非違使への訴え。

問三

思い出しますか。無実の罪を着せられて悪い評判が立った身はつらか
ったということ。現世では人であった菅原道真公が天神様という神
になった昔のことを。

問四

和歌は目に見えない鬼神までも感動させる力を持っていると『古今和
歌集』仮名序が言うように、小大進がすばらしい和歌を詠むことで、
北野天神を感動させ、小大進の無実があきらかになる靈験を得たとい
う和歌の効用を賞賛する説話として考えている。